

(別紙様式3 記入要領)

受講者考査のための実践事例報告に関する提出書類

- ・介護現場で受講者自身がかかわった認知症者 1 事例についての実践事例報告を作成し、1部提出してください。提出する事例は、必ずしも現在支援している認知症者に関する事例である必要はなく、支援が終結している事例でもかまいません。
- ・実践事例報告は、受講者選抜考査の資料として用います。また、当該考査以外の目的では使用しません。実践事例報告は、センターで厳重に保管します。
- ・提出された実践事例報告は原則として返却しません。ただし、考査により不合格となった場合はこの限りではありません。
- ・実践事例報告は以下の記入要項に従って作成してください。
 - 1) 手書きによる作成かパソコン・ワープロによる作成かは問いません。
手書きで作成する場合は、判別できる大きさの楷書で作成してください。
 - 2) 作成日、事例タイトル、府県市名、所属、氏名を書き、1～5までの小見出しをつけ、順に文章を作成してください。
<小見出し>
 - 1 この事例を取り上げた理由
 - 2 倫理的配慮
 - 3 事例紹介
 - 4 ケアの取り組み
 - 5 この事例のケア実践を通じて自分自身が学んだこと、およびその学びを地域ケア推進にどう活かすのか
 - 3) 合計文字数は3000字 (増減1割可) です。文章の最後に合計文字数を記載してください。
 - 4) 図表を入れる場合は、図表にタイトルと図表番号をふり、文章と関連付けて示してください。なお、図表は、1点400字とみなします。
 - 5) 使用する用紙のサイズはA4サイズとします
 - 6) パソコン・ワープロで作成する場合は、上下左右の余白は30mmとします。文字の大きさは12ポイント、文字数は1ページ38文字×32行(1216文字)とします。
 - 7) 実践事例報告を作成するにあたっては、認知症者またはその家族へ実践事例報告の使用目的・報告の方法・作成における倫理的配慮等について十分説明をし、同意を得てください。その旨を文中の小見出し「2 倫理的配慮」に明記してください。
 - 8) 個人情報の取り扱いには十分配慮して下さい。認知症者およびその家族の氏名、地域名、生年月日等、個人が特定される可能性のある情報は記号化してください。
なお、氏名については、イニシャルの使用は不可とします。また、必要以上の情報の掲載はやめてください。
 - 9) 認知症者および家族の写真の掲載はしないでください。